

6月の法律相談は

6月19日(水) 13時～

事前の連絡をお願いします

人としての尊厳は日常の中で
磁気ループ、生活保護、体罰を質問一般質問
6月7日
栗山香代子議員

栗山香代子議員

民主党政権から自公政権に代わり早や半年が過ぎようとしています。

この間、安倍首相は、

「アベノミクス」と言われる経済政策を行い、マスコミは経済が良くなったと持ち上げていましたが、最近はその弊害を指摘し始めています。

金融政策では「投機バブル」で物価を吊り上げ、財政出動ではバラマキ復活で借金を増やし、成長戦略といっている解雇を自由にし、残業代ゼロなど雇用のルールを破壊しようとしています。

さらに、消費税の増徴、社会保障では国民の負担増という大改悪をしようとしています。

大企業が内部留保を増やすだけで、国民の暮らしと経済を直撃することは火を見るより明らかです。

6月3日、生活保護法の一部改正案、生活困窮者自立支援法案が衆議院本会議で可決されました。

これから、参議院での審議に入りますが、この2つの法案について、生活保護の申請をはねつけ、利用者を追い出すことになるのではないかと不安の声が上がっており、廃案に向けた運動がおきています。

生活保護法は憲法25条の理念に基づき、国が困窮の程度に応じた保護、生活保障と自立の助長を目的としており、すべて国民は保護を無差別平等に受けることができ、健康で文化的な水準を維持するものと定められています。

生活保護の基準等の見直しや法律を変えることで、それが守られるのでしょうか。

今年5月、国連の経済的、社会的および文化的権利に関する委員会で採択された、日本に関する総括所見があります。

日本の高齢者、とくに無年金高齢者及び低年金者の間で貧困が生じていることを懸念する、としています。

さらに、生活保護の申請手続きを簡素化し、かつ申請者が尊厳をもって扱われることを確保するため

めの措置を取るよう、日本に対して求めています。

人としての尊厳は、日常生活の中に保たれるべきです。生活の質を保つこと、教育を安心して受けることなど、厚木では市民の立場できちんとしていくのでしょうか。

難聴者対策について

・市内公共施設における難聴者への対応と課題は、
・磁気ループ(補聴器誘導システム)を導入してはどうか。

市長 難聴の方が市主催の講演会や会議などの参加される場合は、主に手話や要約筆記者を配置してまいりました。

課題といたしましては、難聴の方の聴きとれる状況がそれぞれ異なるため、きめ細かい対応が必要であることと考えております。

磁気ループにつきましては、補聴器を補完するシステムのひとつであると認識しており、すでに、総合福祉センターなどに設置しているところでございます。今後の設置につきましては、市民の皆さまのニーズや施設の利用形態を勘案しながら研究してまいります。

生活保護について

・中間的就労支援を取り入れてはどうか。

市長 中間的就労支援は、一般就労の難しい公的扶助対象者が、ボランティア活動などを通じて、社会とのつながりを持ち、意欲の向上などが図られることで一定の成果があることは認識をしております。

今後におきましては、国の制度改正等を捉えながら支援ができるよう、研究してまいりたいと考えております。

・生活保護基準等の変更でどのような影響があるのか。また、運用はどう変わるのか。

市長 生活保護基準等の変更につきましては、現在、審議中の法

案や国・県からの通知によりまず、年齢や世帯構成の状況などを考慮し、3年程度をかけて、段階的に実施するとされております。

また、運用につきましては、現行の考え方を維持しながら見直しを実施されるものと聞き及んでおります。

体罰問題アンケートについて

結果と対応は。
教育長 体罰の実態を把握するとともに、体罰根絶に向けた取り組みを進めるために、本年2月から3月にかけて、市立小・中学校の全児童・生徒及び保護者、教員を対象に調査を実施いたしました。

調査にあたっては、学校に詳細の聞き取りを行うなど、個々の状況に応じ、児童・生徒の権利尊重の観点から必要な指導を行いました。

今後も、児童・生徒理解や人権尊重に関する研修等を通して、教員の指導力の向上を図るとともに、児童・生徒が教員との温かい信頼関係のもと、生き生きと学校生活を送れるよう、学校を指導・支援してまいります。



6月議会 今後の予定

6月17日(月) 環境教育常任委員会
18日(火) 都市経済常任委員会
25日(火) 議会運営委・本会議いずれも9時開会
ぜひ、傍聴においでください。